

実践のまとめ

※取組の様子は、本校 HP にて紹介しています。

○これまでの経緯と機器等の整備状況

年 月	取 組 等
R02 1 月	プログラミング教育授業公開 (1/29・30) に向け、タブレット 70 台導入 ロイロノート、Microsoft Teams の校務利用開始
4 月	ロイロノートによる臨時休業中の連絡及び課題の配信 ロイロノートによる週に一度の児童の健康チェック Zoom の校務利用開始
5 月	大型モニター・Apple TV 等整備
6 月	オンライン PTA 総会
7 月	学校ホームページリニューアル、ICT 活用授業実践研究開始
8 月	Microsoft Teams によるリモート教育実習指導 (8/24～31) (本実習は 9 月から 3 週間)
9 月	オンライン運動会 (9/26) 保護者向け YouTube 限定公開
10 月	オンライン社会科現場学習 オンライン PTA 講演会 (10/6 Zoom リアルタイム配信～10/12 まで YouTube で視聴可)
11 月	オンライン日曜学習参観 提案授業公開 11/13～2/4 計 11 授業 (Zoom でリアルタイム配信) 欠席・遅刻・早退連絡フォーム運用開始 全校一斉道徳授業の YouTube 配信
12 月	GIGA スクール構想整備のタブレット 210 台納品 (GIGA 加速分は 3 月納品) 校内ネットワーク環境・電源キャビネット整備 全学級道徳授業 YouTube 限定公開 保護者との個人面談を対面と Zoom 利用の選択実施
R03 3 月	タブレットの導入・活用に関する情報交換会 「ICT 活用実践事例集」発行

○成果

GIGA スクール構想による ICT 機器等の導入により、校務や行事、そして授業において、これまで以上の効率的な取組が行われた。

- ・校務：会議のペーパーレス化、即時性のある職員間の連絡等
- ・行事：参加者数の無制限化、感染症リスクや安全面の配慮の減少等
- ・授業：互いの考えの共有の即時性、個の考えの効率的な整理等

学校生活のどの場面においても新たな日常が生まれた。当初は、ICT 機器の導入により、個での取組が増え、他者と関わり合う必然性や機会が減少するという課題も想定された。しかし、新たな日常における取組や様々な問題に対して、児童そして教師が積極的かつ協働的に対応している姿が見られた。本実践の中で現れたのは、児童が自らの必要感を基に積極的に考えや行動を改善する姿や、他者と関わり合うことの有用感を自覚した上で協働的に目的を達成する姿であった。以上のように、本実践における児童の姿から、目的を明確にして活用した際の ICT 機器の有効性を認識すると共に、学校教育の本質を改めて実感することができた。



○今後の方向

本実践で行った校務や行事、授業での取組を踏まえ、令和 3 年度は、会議以外でのペーパーレス化の推進、家庭との連携、1人1台タブレット授業の日常化など“ICT 機器を道具として扱う”新たな局面に入る。そこで、以下のような内容を強化していく必要がある。

- ・校内サーバーやオンライン上のサーバーとの役割分担
- ・必要感のある協働的な学習の構築 ・中学との連携
- ・ネットリテラシー等の ICT 活用教育 ・保存フォルダの整理
- ・ノートや学習プリント、ICT 機器の役割の明確化

上記の内容以外にも ICT 機器を効果的に活用するための課題は山積している。今後は、児童や教師共々、成果に示した姿の価値を実感しながら、これらの課題の解決に向けて取り組んでいきたい。